



先日、取材で訪れた石川県立金沢辰巳丘高校で、凛として立つ1つの彫刻に目を奪われました。それは、ホールに翼を広げる「サモトラケのニケ」のレプリカ像でした。同像は芸術コースの卒業生から寄贈されたもので、「学びの場に芸術を」という思いが込められているそうです。ルーブル美術館の至宝がなぜここに、と驚きましたが、その意図を考えると深くうなずかされました。

「ニケ」は、ギリシャ神話の勝利の女神。日々その前を通る生徒たちは、意識せずとも「勝利」のイメージを目に焼きつけていることでしょう。困難な目標に挑む時、翼を広げた女神が生徒たちの背中をそっと押しているのかもしれない。

教科書などから得る知識だけでなく、日常の風景の中にある美や理念が人の感性を磨き、夢や志を育むものです。環境が人に与えるインスピレーションの重要性を、その像が静かに私に教えてくれた気がしました。同校の生徒たちが、力強く未来へ羽ばたいていく姿が目に見えました。(伊藤)

VIEWnext公式アカウント

LINE@

友だち募集中!



『VIEW next』のLINEを友だち登録していただければ、本誌の発刊時や新コンテンツの公開時に通知が届き、ウェブサイト『VIEW next ONLINE』内の該当記事に、ダイレクトにアクセスできます。この機会にぜひ、友だち登録をお願いします!

【友だち登録の方法例】

- (方法①) 上の2次元コードを読み取る
- (方法②) LINEアプリの「友だち追加」> 「ID検索」で「@view21」と入力して追加

VIEWnext

高校版 2025年9月号

9月19日発刊

(予定)

Reader's VIEW

先生方からのご意見を紹介します

2025年4月号へのご意見

教育理念や目標の言語化が、教師の役割を明確にさせる

4月号の特集は、教師の資質・能力の育成がテーマであり、興味深かった。事例3の岐阜県立飛騨高山高校の記事で、神出建太郎校長のご発言の「生徒と教師は、言わば相似形のような関係」は、教師の資質・能力の育成なくして、生徒の資質・能力の育成はできないことを示している。教師に求められる資質・能力は生徒と同様、学校の教育理念や目標などによって異なるが、それを言語化することで教師は自分の役割を認識し、「教師が学習する組織」へと変わっていくと考える。特に、「生徒が□□できるようになるために、〇〇の場面で、生徒に△△できる教師になる」と、目的と場面、行動を具体化することが重要だろう。静岡県立小山高校 美那川雄一

まずは自分が所属する学年や分掌から変えていきたい

生徒に「主体的に学ぼう」と言っている教師自身が、日々の業務に追われて学んでいない現状に、私は危機感を持っていたため、4月号の特集の記事には心を打たれた。組織的な動きが大きな変化につながることや教師同士の学びが新たな視点を生むこと、そしてそれらが教師のやりがいや専門性の向上に結びつくことを、記事を読んで改めて感じた。自分だけでは学校全体を動かすことは難しくても、学年や分掌であれば、意識変革を促せるかもしれないと思えた。具体的には、前年度の踏襲を前提とせず、課題をきちんと洗い出し、日常的に教師間で対話をする機会を重ねていけば、小さいながらも変化が生まれそうだ。自分の行動が他の教師にも影響を与えると信じたい。新潟県立佐渡中等教育学校 竹田美代子

生きるヒントを学べる問いと、授業展開が参考になった

4月号の新連載「ブラッシュアップ 授業実践」の記事を読み、生きるヒントを学べる問いとそれにつながる問いをうまく取り入れることによって、生徒の題材に対する興味・関心が高まり、こんなにも面白そうな授業ができるのだと驚いた。私も生徒主体の探究学習を実現すべく、記事を参考にして授業づくりをしていきたい。埼玉県立蓮田松韻高校 小林昭宏

「やらされ感」という言葉に、探究学習の現状を痛感

4月号の新連載「『やらされ探究』から『マイ探究』へ!」の記事を読み、「やらされ感」というキーワードは探究学習の課題を言いあてていると感じた。認定特定非営利活動法人カタリバの横山和毅さんの「自分との『距離』が近い課題を設定することが重要だ」という指摘は、取り組みのヒントになった。探究学習は自由度が高いからこそ、具体的な事例を知りたい。次号の記事も期待している。東京都・私立東京農業大学第一高校 小堀健一

管理職との面談で教師に意識改革を促す

4月号の「指導変革の軌跡」の福岡県立柏陵高校の記事は、若手教師にチャンスを与え、彼らの視点を学校経営に組み込む取り組みが素晴らしいと思った。定員割れの状況から、管理職が教師一人ひとりと丁寧な面談して意識改革を促し、スクール・ポリシーを自分事として捉えて検討し、変革していく過程が大変参考になった。同僚には面と向かって言いくらいことも、管理職との個人面談であれば言いやすいのかもしれない。実践してみようと思う。岩手県立水沢高校 寒河江和広